

熊本県州立モンタナ大学高校生派遣事業（担当課：高校教育課）

県内高校生19名（43名の応募者の中から選考）に対し、州立モンタナ大学附属の語学学校で語学研修を受講するための費用（一部）を助成しました。19名は昨年7月22日から8月8日までの18日間、州立モンタナ大学で集中的な語学研修を受講したほか、地域の人々との交流を通じて異文化を体験するとともに、遺跡・文化施設や国立公園などでの研修で見聞を広めました。研修の前後でTOEFL Juniorの点数が上がったほか、海外留学への意欲や積極性がさらに高まるなど、大きな成果が出ています。

語学研修の内容

アメリカ文化の理解を通じて英語の4領域（読む・書く・聞く・話す）の力を伸ばすことを目的。

- ◆英会話ストラテジー：ロールプレイを交えながら、日常会話を練習。
- ◆ポスタープレゼンテーション：アメリカの食生活等のテーマを設定し、現地のイベントで見物客に聞き取り調査を行い、その結果をまとめて英語で発表。
- ◆フィールドキャンプ：グレーシャー国立公園にある大学附属の研究施設での研修を通じて学んだモンタナの自然環境等について英語でまとめ、発表。 など

助成対象者の声

- ・今回、研修に行って新しく気付いたことがたくさんありました。自分は何が得意で、何が不得意なのか。英語以外でも、自分を客観的に見つめなおし、今からの将来設計をする上できっと役に立つ経験をする事ができたと改めて感じます。ここで得た経験を胸に、これからの学生生活において日々精進していきたいです。
- ・モンタナ研修での第一の目標であった英語の能力をもっと伸ばすということに関して、何より英語を学ぶことは面白いと感じることができたのが最大の収穫でした。そして、もっと語彙力をつけて自分の思いを伝えられるようになりたいと強く思いました。私は将来、小学生の子どもたちに英語を教えたいという夢があります。その夢を叶えるためにも今回学んだ事を生かして努力していきたいです。
- ・「言語の壁」があるということは頭では分かっていましたが、実際それが何度も続いてしまうと結構落ち込んでしまいます。しかし、これは本当にミズーラの人たちの良さというか、もしかしたらアメリカの本当の良い所なのかも知れませんが、現地の方々はどの人も一生懸命に話を聞いてくれますし、分からない所は質問してくれます。相手に考えを分かりやすく伝えるために、自分の言うことをどんどんパラフレーズしていく力が、これによって相当鍛えられたように思えます。英語を使うことへの抵抗感も、驚く程なくなっていました。
- ・私たちが二週間滞在したモンタナはとても素晴らしい場所でした。美しい自然やたくさんの野生動物にとっても感動しました。またこの地に戻ってきたいと強く思っています。この二週間は一生の思い出になりました。このような貴重な経験ができたのも、両親や先生方、モンタナ研修への参加に尽力してくださった全ての方々のおかげです。そのことへの感謝を忘れず、自分の経験をこれからにつなげていけるように頑張りたいです。

